## 平成 26 年度 基礎評価シート

						<del>世当部課等名</del> 保険医療課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保					重点的方針	1. 高齢者の安心な暮らし支援				
分野別方針	(8)社会保障制度の適正な運用					実施計画事業	1)制度の適切な運用(No.9)				
予算等事業名	後期高	齢者医	医療保険料	徴収事	業	•					
目的	社会保障制度の適切な運営のため、運営事務及び保険税(料)徴収事業を行う。										
内容	後期高齢者医療保険料に係る徴収事務の遂行の必要経費										
根拠法令 •条例等	高齢者の医療の確保に関する法律										
体制	☑       町職員実施       ☑       一部委託あり       □       全部委託       ☑       その他										
中間評価(10月1日現在) 1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか											
	① 計画どおりに進捗している		5 🗆	②計画よ	り遅れている			未実施			
2,312	対するヨ	理由									
_ \	L 11			## - Jon -	H1 - M.D. N. Inda. 2. I.A.						
2) 現時				降の経知	費の削減等は検						
	<b>山</b> 傾	討でき	් <b>ට</b>			②削減は	· 四難				
理	由										
3) 今ま	で以上	の事業	の効率化	は図れる	るか						
	①検	討でき	3			②効率化	には困難				
理由											
中間 お A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D:計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止) 【説明】											
総合評価											
実績	平成25年度における現年分の保険料収入金										
中間評価 との 相違点											
事業指標(数値指標) 徴収率											
前期(27	年度)目標値 単位: 99.7%					票】					
実績値	平成2	5年度	平成26年	F.度	平成27年度	当該年度(	現年)の収納率				
	99.	.7%									

(単位:千円)

		平成	25年度	平成2	26年度	平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,159	1,038				
財源内訳	一般財源	1,159	1,038				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

## 事業の項目別評価

	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	А					
	【説明】後期高齢者医療広域連合を設置することで、市町村の枠を超えて連携・補完でき、広域的に処理されることで住民サービスの向上・事務の効率化を進めることができる事業である。						
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	А					
	【説明】 町民にとって身近な町が窓口となる必要のある事業である。						
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	А					
	計画どおり事業を完了した。						
· ·	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	А					
効率性	【説明】 町税他、各種税・料主管課とも情報の共有を図り、徴収業務の円滑運営を進めている。 また、共同調達を行う等して費用の削減に努めている。						
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	А					
	【説明】 今後も広域連合と協力して、安定した事業運営を図れるよう努める。						
今後の方針 (課題・意見 等を箇条書 き)	・口座振替の勧奨を行う。						

◎評価者[担当主管課長]								
7	☑ ① 現状維持		②改善して町が実施		③改善して町以外が実施		④廃止	
	理由	広域連合と協力して安定した事業運営を図っていく。						
今後	後の方向性	制度の理解度を深め、徴収方法(口座振替等)を周知啓発していく。						